

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290900651		
法人名	株式会社 ヘルシーサービス		
事業所名	グループホームガーデンコート前原東(1階)		
所在地	千葉県船橋市前原東5-42-35		
自己評価作成日	平成29年1月7日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo.chibakenshakyo.com/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階
訪問調査日	平成29年3月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一日一笑をモットーとし、職員と利用者において良好な関係が築かれており、日常生活では、昔ながらの趣味を継続して取り組めるよう支援するほか、希望に応じた外出や外食会の実施など様々なプログラムを設け、日々楽しく生活できるよう支援されている。施設のような雰囲気ではなく、家庭の雰囲気を大切にしたい住環境を心がけています。
ご家族様との絆の橋渡しである事(連絡を密に取り合い、月1回ガーデンコート通信の送付など)を心がけています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「一日一笑」をホームのスローガンとし、利用者、職員が日々笑顔多く過ごせるように一丸となり取り組んでいます。開設後2年が経過しましたが、利用者もホームの生活に慣れ、職員とも馴染みの関係を築くことができています。特に今年度はホーム内の行事の充実にも力を入れ、行事の際には利用者の要望を取り入れた行事食を皆で一緒に楽しんだり、ご当地メニューの提供など、食事内容の充実にも取り組んでいます。また、ハーモニカやオペラ、バカ面踊りなどのボランティアの方も来所しており、利用者へ楽しみを提供することができています。次年度以降は外出行事を充実させ、利用者の生活の幅の拡充を目指しています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社是、経営理念、心得を念頭におきお客様が家庭的な雰囲気を持てるような環境作りを心がけています	会社の経営理念、社是、心得をホーム内に掲示するほか、毎月の拠点会議において唱和をし、職員の理解が深まるように取り組んでいます。また、「一日一笑」をホームのスローガンとし、利用者主体の生活をホーム全体で大切にしています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事、地域での買い物、散歩を通して地域社会との繋がりを確保しています	自治会で開催される夏祭りなどの地域の行事に利用者と一緒に参加をし地域住民と交流を図っています。近隣小学校で開催されるお祭りへの参加や運動会の見学、地域のボランティアの方とも交流を図り、地域と良好な関係を築いています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	散歩、運営推進会議などを通じて事業所を認知していただき相談を受ける事が増えた。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者様の生活を確認して頂いたり、毎月開催の行事の報告してサービスの向上に生かしております。 また町会長より地域行事の報告、予定の確認をとる時間もいただけるようになりました。	会議には、家族代表者、在宅介護支援センター、地域包括支援センター、自治会、民生委員、薬局、訪問歯科等の参加を受け2ヶ月に一度定期的に開催しています。参加者からも有益な情報を得ることができており、会議を通じてサービス向上につなげることができています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センターとの密な関係を継続しており紹介や相談をいただいています。	運営上市の担当課に相談するケースが生じた際には、市の指導監査課と連絡を取り指示を仰いでいます。ホームからの質問に対して丁寧な回答を受けることができ、市とも協力関係を築くことができます。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての会議を行いスタッフの理解を行いスタッフの理解を深めている。転倒、転落の危険のある場合でもどのようにして身体拘束をしない対応をするか、皆で意見交換をし、ケアプランに盛り込んでいる。	「身体拘束廃止・虐待防止」研修をホーム内で実施しており、職員の意識を高めることができます。現状ホームでは適切な対応を図ることができており、身体拘束につながる事例は発生していません。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	インターネットや外部の拘束・虐待防止研修の資料等を基に拠点内研修を行ない、拘束・虐待次項の確認、防止の為にお客様の言動・行動にスタッフが対応できるように指導しています。		

グループホームガーデンコート前原東(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人がついたお客様もあり、お客様の権利に関して学ぶ機会も多く、得た知識で他のお客様にもご提案をしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は、契約書及び重要事項説明書を管理者により、説明を行っております。ご家族等にはご理解とご納得頂けるまで時間をかけてご説明させて頂いております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様等からの意見や要望を他担当者会議の際、面会時に直接伺い聞きとられている。ご意見、ご要望があった場合はその都度話し合い意見の反映の努めている。	家族からの意見や要望等については、面会に訪れた際に直接確認しています。また、年に一度本部より「顧客満足度調査」を家族に送付し、定期的に家族の方が意見や要望等を表出できる機会を設けています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	3ヶ月に一度個人面談を行い、スタッフの意見を聞く機会としている。また、拠点会議やユニット会議を行っている。	管理者は3ヶ月に一度職員と個人面談を実施しており、定期的に意見や要望等を確認しています。定期的個人面談以外にも、事務所のドアを開放し、気軽に相談できる体制を築き、意見や要望等を日常的に収集できるように取り組んでいます。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し各自が向上心を持って働けるように個人面談等で確認を取り整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間の研修計画に職員のスキルアップ研修があり計画に沿って実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流については法人内系列の他のホームとの連携を図りながら、先進事例等を積極的に導入しサービス向上につなげている。また市町村が行なっている認知症サポーター研修等に参加しネットワークを作り努めている。		

グループホームガーデンコート前原東(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントをしっかりと行ない、入居後はコミュニケーションに力を入れて人間関係の構築に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初回面談時の書面や問合せ、サービス担当者会議で入居までの課程で時間をかけてご相談しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用者の方が最も望んでいる生活が出来るように情報提供を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	アットホームな雰囲気を目指し安心と安全な生活を送って頂けるホームを目指し過度なケアを避けできる事をやっていただけるよう明るい雰囲気作りを目指している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	絆の橋渡し役を担う意識のもとでご家族様との連携を図っています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話や手紙はもちろん、誰でも来訪できるようにしているため、友人の方々等気軽に来訪されています。	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係性の継続に向け、友人との年賀状とのやり取りを継続するなど、具体的な事例は少ないですが、本人や家族の要望に応じて柔軟に対応していく体制としています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆で散歩に行ったり洗濯物や掃除を一緒に行って日常生活の作業を共同で行なっております。		

グループホームガーデンコート前原東(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	法人内他の施設に入居した方もおり、担当者が不在の時はいつでもご相談して下さいと連絡しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	定期的なモニタリングをして本人の意向を第一に介護計画を作成しています。訴えの少ないご利用者様にも時間をかけ希望を考慮しながら本人の生活をイメージしています。	利用者の思いや意向については日常会話から職員が収集し、日々の支援に活かしています。また、ケアプランの作成および更新時にはアセスメントを実施し、利用者の現状や課題、思い等を抽出しケアプランに反映しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回面談時にアセスメントして書面に残し職員各位が共有できるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録や申し送り、ユニット会議で全員が把握しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	原案の作成をして、ユニット会議でスタッフと考察、ご家族来訪時の際や電話にて近況報告をし、場合によっては主治医を交えたカンファレンスを行っております。	アセスメントで抽出した課題に基づき、担当者会議において、本人、家族、職員等の意見を総合的に踏まえてケアプランを作成しています。ケアプランに掲げた目標の達成状況については毎月のモニタリングで確認しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人日誌や業務日誌に記録として残し日々の申し送り等で情報の共有化を図り、プランに活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状態の変化等があった際にはその都度ご家族と連絡をとり、職員を交えたケース検討会議を行いケアプランの再、または追加事項としている。		

グループホームガーデンコート前原東(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアにてウクレレの演奏、地域の伝承遊びを行っています。また町内会の行事に参加できるように努めています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームの主治医とは別にご本人の今までのかかりつけ医への通院されているお客様もおります。月2回の内科往診が基本ですが小さな体調不良に電話で相談、もしくは臨時往診が受けれるようにしています。	3ヶ所の医療機関と提携を結び、利用者が必要な医療を受けられる体制を築いています。各医療機関とは定期的な訪問診療を通じて連携を図るほか、利用者の体調変化時にも迅速に対応できる体制を築いています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホームの主治医の看護師により食事のことやご利用者様の対応方法等を相談しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院があった際には入院先の病院と連絡を取り介護サマリー、個人記録をもちいて日常の様子を申し送っている。また、入院が長引いた際などは定期的に病院に伺い病棟看護師等から状況確認を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化または終末期になりうる状況の際は、ご家族、主治医と密に連携を図り、援助計画を基に情報を共有している。	重度化や終末期の方針に関しては、契約時において方針を説明し、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有しています。重度化が見られる場合は、家族や主治医と再度話し合いを行い、今後の方針を検討していくこととしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応マニュアルに基づいている。マニュアルは事務所に設置されておりすぐに閲覧可能となっている。なお、緊急連絡網も添付しておりマニュアルにそった対応ができるよう会議等で確認している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の訓練を実施し消防署員から防災説明、消火器の位・取り扱い方、避難経路の確認。災害時の動きなどの確認を行っている。	年に2回消防訓練を計画しており、日中や夜間の火災を想定した避難訓練を今年度2回実施しています。災害時を想定し、災害時マニュアルが新たに作成されたほか、災害備蓄品についても本部が中心となり今後整備していく形としています。	

グループホームガーデンコート前原東(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	過度な敬語を使わず、声かけはゆったり優しい口調で話しかけ明るく話しかけるよう心掛けています。	ホーム内研修において「認知症の理解」や「介護技術研修」などを通じて利用者への対応について職員間で確認しています。トイレ誘導時の声掛けや居室への出入りについても羞恥心やプライバシーに配慮し対応しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様を尊重し、選択してもらうということを基本的なアプローチとして意識している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様が主体である事を研修等で周知している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入居前から気に入っている衣服も着られるように洗濯に気をつけてます。また自身で好きな理容室を選びいかれる方もいます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	月1回以上の行事食のメニュー作りからご利用者に参加して頂き調理、下膳、食器洗い等一緒に行っている。	食材は業者から届くシステムを採用していますが、月2回程度食事メニューを利用者と一緒に考え、食材の買い物も利用者と一緒に出掛けています。準備や後片付けにおいても利用者も関わることができるように取り組んでいます。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量、水分量は記録し、朝夕の申し送り時に報告してもらい必要に応じて主治医の指示を頂いている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、食後3回必ず口腔ケアを実施しております。訪問歯科医よりお客様に適した口腔ケアの指導も受けています。		

グループホームガーデンコート前原東(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個人記録等に時系列で記録している。パターンを把握し排泄の間隔を管理しトイレ誘導を行っています。	利用者一人ひとりの排泄状況に関しては、個人日誌に水分摂取量や排泄に関する記録を残し、利用者一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分が少ないご利用者様に対しては、好きなものやゼリー等で水分を補っている。また、排便チェック表を使用し便秘や下痢等がないか日々チェックを行っている。DVDや動画サイトを用いて体操も取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴のスケジュールはありますが入浴回数や時間帯についてはなるべくご利用者様の希望に沿うようにしています。	利用者の体調やタイミングを考慮し、週2~3回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助につき、転倒等が生じないように安全面に十分配慮しています。また脱衣室も暖めており浴室との温度差が生じないように取り組んでいます。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝る時間を特に定めず、お客様主体で動いている。ただし、昼夜逆転など防止の為、時間で誘導したり安定剤を用いる方もいる。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時に薬剤師の同行をお願いし、担当ケアマネも交え意見交換をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外出支援、行事、誕生日会など工夫し不定期に変化をつけている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近所のスーパーへ買い物へ行ったり散歩に行ってます。また週に一度ご家族で外出。外食される方もいます。	天候や気候の良い日にはホーム周辺の散歩やスーパーまでの買い物に利用者をお連れしているほか、自治会行事への参加や小学校の運動会見学、小グループでの外出など、利用者の状態に合わせて定期的に外出できるように取り組んでいます。	次年度に向けて外出行事を増やしていくことを検討しており、今後外出の幅を広げ、利用者の楽しみがより増えていくことを期待します。

グループホームガーデンコート前原東(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人が小額ですが持っている方が居ります。散歩の途中で自販機で自身の好きな飲み物を選んだりされます。管理の難しいご利用者様は事務所の金庫や銀行へ預けています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話番号を職員がかけ居室にて通話されます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設のようになり過ぎず、家庭的な雰囲気演出を意識しています。	共用の空間は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、行事や季節に合わせて装飾を工夫し、生活感や季節感を採り入れ居心地良く過ごせるように工夫しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	無理強いせず、お伺いした上で本人の意志を尊重しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物や好みの物の持ち込みをお願いしております。整理整頓はご本人様と職員が一緒に行なっています。	居室は、利用者やご家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのものの持ち込みを可能とし、ご利用者が居心地よく過ごせるように配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	極力ご本人様の意思を尊重し、起床、就寝時間等一人ひとりのペースに合わせて対応されている。決して無理強いすることなくペースを尊重した支援が日々図られております。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290900651		
法人名	株式会社 ヘルシーサービス		
事業所名	グループホームガーデンコート前原東(2階)		
所在地	千葉県船橋市前原東5-42-35		
自己評価作成日	平成29年1月7日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階
訪問調査日	平成29年3月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一日一笑をモットーとし、職員と利用者において良好な関係が築かれており、日常生活では、昔ながらの趣味を継続して取り組めるよう支援するほか、希望に応じた外出や外食会の実施など様々なプログラムを設け、日々楽しく生活できるよう支援されている。施設のような雰囲気ではなく、家庭の雰囲気を大切にしたい住環境を心がけています。
ご家族様との絆の橋渡しである事(連絡を密に取り合い、月1回ガーデンコート通信の送付など)を心がけています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「一日一笑」をホームのスローガンとし、利用者、職員が日々笑顔多く過ごせるように一丸となり取り組んでいます。開設後2年が経過しましたが、利用者もホームの生活に慣れ、職員とも馴染みの関係を築くことができています。特に今年度はホーム内の行事の充実にも力を入れ、行事の際には利用者の要望を取り入れた行事食を皆で一緒に楽しんだり、ご当地メニューの提供など、食事内容の充実にも取り組んでいます。また、ハーモニカやオペラ、バカ面踊りなどのボランティアの方も来所しており、利用者へ楽しみを提供することができています。次年度以降は外出行事を充実させ、利用者の生活の幅の拡充を目指しています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社是、経営理念、心得の唱和を実施	会社の経営理念、社是、心得をホーム内に掲示するほか、毎月の拠点会議において唱和をし、職員の理解が深まるように取り組んでいます。また、「一日一笑」をホームのスローガンとし、利用者主体の生活をホーム全体で大切にしています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	挨拶の実施、町会や自治会の行事などにも参加している	自治会で開催される夏祭りなどの地域の行事に利用者と一緒に参加をし地域住民と交流を図っています。近隣小学校で開催されるお祭りへの参加や運動会の見学、地域のボランティアの方とも交流を図り、地域と良好な関係を築いています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	散歩や運営推進会議などを通じて、認知症お客様の様子など映像で見ている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご意見とか提案については、サービス向上に活かすよう努力している	会議には、家族代表者、在宅介護支援センター、地域包括支援センター、自治会、民生委員、薬局、訪問歯科等の参加を受け2ヶ月に一度定期的に開催しています。参加者からも有益な情報を得ることができており、会議を通じてサービス向上につなげることができています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括支援センターなどとも、相談してアドバイスやお客様の紹介もして下さる	運営上市の担当課に相談するケースが生じた際には、市の指導監査課と連絡を取り指示を仰いでいます。ホームからの質問に対して丁寧な回答を受けることができ、市とも協力関係を築くことができます。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	帰宅願望のあるお客様には、一緒に外出して声かけ、傾聴で対応している	「身体拘束廃止・虐待防止」研修をホーム内で実施しており、職員の意識を高めることができます。現状ホームでは適切な対応を図ることができており、身体拘束につながる事例は発生していません。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な研修を行い、虐待防止の勉強など行っている		

グループホームガーデンコート前原東(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関しては、奥が深い為なかなか職員全員が知る事は難しいが、研修で簡単なことは勉強していく		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	きちんと説明している		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ケアプランの更新とかに、意見・要望なども必ず聞き運営に反映させている	家族からの意見や要望等については、面会に訪れた際に直接確認しています。また、年に一度本部より「顧客満足度調査」を家族に送付し、定期的に家族の方が意見や要望等を表出できる機会を設けています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	従業員アンケートの実施	管理者は3ヶ月に一度職員と個人面談を実施しており、定期的に意見や要望等を確認しています。定期的個人面談以外にも、事務所のドアを開放し、気軽に相談できる体制を築き、意見や要望等を日常的に収集できるように取り組んでいます。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人面談の実施		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スタッフの今後の目標や仕事の量などを把握してモチベーションをあげている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	介護支援専門員の地域での研修の参加、グループホーム協議会の入会		

グループホームガーデンコート前原東(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントをしっかり行うことで、本人のことを理解できるように努める		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の話聞き、ここを選んでよかったと思って頂けるように努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居後、お客様に必要な事、必要でない事を見極める。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できる事を見つけて、一緒に行なう		
19		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	施設に入れたら後はお任せではなく、ご家族にも顔を見せて頂き、一緒に支えていっている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会などいつでも受け入れしている	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係性の継続に向け、友人との年賀状とのやり取りを継続するなど、具体的な事例は少ないですが、本人や家族の要望に応じて柔軟に対応していく体制としています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者が具合の悪くない限り、できるだけフロアで過ごして頂き、孤立ないように努めている		

グループホームガーデンコート前原東(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設に移られた方でも、どう過ごされているのか、確認をしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントでお話を聞いているとどこかしらで本人の希望を聞くことができるので、時間をかけて行なっている	利用者の思いや意向については日常会話から職員が収集し、日々の支援に活かしています。また、ケアプランの作成および更新時にはアセスメントを実施し、利用者の現状や課題、思い等を抽出しケアプランに反映しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活暦など、本人に聞き、難しい時は家族に聞いている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	情報を共有し、お客様の状態を把握している		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議を開催し、安心して生活できるように意見交換をしている	アセスメントで抽出した課題に基づき、担当者会議において、本人、家族、職員等の意見を総合的に踏まえてケアプランを作成しています。ケアプランに掲げた目標の達成状況については毎月のモニタリングで確認しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、朝・夕とミーティング行ない、スタッフ同士で情報を共有している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	スタッフが揃っている時など、市の施設などに車を使い外出している		

グループホームガーデンコート前原東(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	傾聴、囲基などボランティアを要請		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の訪問診療、必要に応じて通院支援など	3ヶ所の医療機関と提携を結び、利用者が必要な医療を受けられる体制を築いています。各医療機関とは定期的な訪問診療を通じて連携を図るほか、利用者の体調変化時にも迅速に対応できる体制を築いています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	巻き爪の処置など、訪問看護事業所に相談		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は様子を伺い訪問したり、退院支援を行っている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化や終末期のことは説明し、状況が難しいときなどは最後まで関わるようにしている	重度化や終末期の方針に関しては、契約時において方針を説明し、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有しています。重度化が見られる場合は、家族や主治医と再度話し合いを行い、今後の方針を検討していくこととしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時は連絡網に従い行動している		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の訓練の実施	年に2回消防訓練を計画しており、日中や夜間の火災を想定した避難訓練を今年度2回実施しています。災害時を想定し、災害時マニュアルが新たに作成されたほか、災害備蓄品についても本部が中心となり今後整備していく形としています。	

グループホームガーデンコート前原東(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	家族のようないい関係を保ちつつ、なれなれしい言葉使いや失礼な言葉使いには気をつけている	ホーム内研修において「認知症の理解」や「介護技術研修」などを通じて利用者への対応について職員間で確認しています。トイレ誘導時の声掛けや居室への出入りについても羞恥心やプライバシーに配慮し対応しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お客様に考えて頂けるように選択して選んで頂けるような声かけをしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様のペースを優先して、どんなに時間がかかっても自身で出来る喜びを味わって頂く		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	汚れた洋服などは洗濯し、いつでも清潔な装いをして頂いている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	なるべく色々な方に料理や片付けなどをお願いしている	食材は業者から届くシステムを採用していますが、月2回程度食事メニューを利用者と一緒に考え、食材の買い物も利用者と一緒に出掛けています。準備や後片付けにおいても利用者も関わることができるように取り組んでいます。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量は日誌に記入し、少ない時等は報告してもらう		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は口腔ケアを実施している		

グループホームガーデンコート前原東(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別に対応し、排尿排便の間隔の管理をしている	利用者一人ひとりの排泄状況に関しては、個人日誌に水分摂取量や排泄に関する記録を残し、利用者一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ミルミルやヤクルトを飲んで頂いている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	2,3日に1回は入浴をしている	利用者の体調やタイミングを考慮し、週2~3回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助につき、転倒等が生じないように安全面に十分配慮しています。また脱衣室も暖めており浴室との温度差が生じないように取り組んでいます。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転がないようにしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時、薬剤師の意見やCMも交えて、状態を報告している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外出、行事など気分転換をはかっている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩をかねて、買い物に行ったりしている	天候や気候の良い日にはホーム周辺の散歩やスーパーまでの買い物に利用者をお連れしているほか、自治会行事への参加や小学校の運動会見学、小グループでの外出など、利用者の状態に合わせて定期的に外出できるように取り組んでいます。	次年度に向けて外出行事を増やしていくことを検討しており、今後外出の幅を広げ、利用者の楽しみがより増えていくことを期待します。

グループホームガーデンコート前原東(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お預かり金の中で訴えに応じている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話がしたい時には、電話をかけた り、手紙なども一緒に出しに行く		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を感じて頂けるような装飾やおやつなどを提供している。明るさ、気温、湿度も配慮している	共用の空間は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、行事や季節に合わせて装飾を工夫し、生活感や季節感を採り入れ居心地良く過ごせるように工夫しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自由に過ごせる空間の中で席なども工夫している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使っていた家具などを持ち込まれ馴染みのものを使用し安心して過ごしてもらえる	居室は、利用者やご家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのものの持ち込みを可能とし、ご利用者が居心地よく過ごせるように配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	役割を見つけたり、こちらからお願いする事で自立した生活が送れる		